

企画総務グループ幹事会（平成 21 年度第 1 回）議事録

- ・ 日 時：平成 21 年 5 月 18 日（月） 14：00～16：00
- ・ 場 所：JGS 会館 3 階小会議室
- ・ 出席者：北本（記録）、佐藤、桑野、関、青木（事務局）
- ・ 欠席者：東畑、喜多、王、大和、玉手、鎌田

1. 今期の体制

- ・ 1 幹事長，2 副幹事長，7 幹事
交代：佐藤副幹事長（応用地質株） 石井副幹事長， 桑野幹事（埼玉大学） 末政幹事
新規：関幹事（株大林組）， 鎌田幹事（ケミカルグラウト株）
- ・ 当面、【別紙 - 2】に基づいた役割分担を想定するが、今年度は 60 周年記念行事や公益法人化に向けて多数の事案発生が予想されるので、臨機応変的な対応をお願いする

2. 今期のスケジュール

- ・ 4/28 に支部総会が無事終了し、5/28 には本部総会が開催予定。10 月，2 月に開催される評議員会を含め、いずれの会合においても企画総務 G が中心となって資料準備等を担当
- ・ 企画総務 G は、概略 2 ヶ月に 1 回開催される運営委員会（支部長，副支部長，各 G リーダ幹事等が出席）の前週を目途に開催。その際、各幹事は担当分の状況（実施結果，実施計画）を報告

3. 前回の議事録確認

- ・ 北本以外の出席者は全員新任のため、企画総務 G の役割，関東支部の運営状況確認を兼ねて報告

4. 地盤工学会 60 周年記念支部行事

- ・ 東畑幹事長が委員長（副委員長：規矩先生（関東学院大学）を務めるが、“絵画コンクール”は若松先生（関東学院大学），岸田氏（東亜建設工業株），“ソイルタワー”については熊谷先生（関東学院大学），末政先生（東京都市大学），田中先生（同）を中心に計画中
- ・ 本部技術普及委員会と共催扱いになる“市民向け地震防災講演会”は、谷先生（横浜国立大学）を中心に 9/5（土）東大武田先端知ホールでの開催に向けてパネラー人選等を計画中

5. 企画総務 G の 2009 年度予算

- ・ 各 G からの報告をとりまとめた予算については、支部総会で承認済み
- ・ 企画総務 G の予算としては、講演会関係（英語の企画ものが多く、謝礼の増額に対処），出張講座（依頼件数の増加を想定），新規企画（若手会員対策）に関し、例年よりも若干増額で計上
- ・ 今年度の支出における大きな特徴は、“60 周年記念事業支部行事”として 400 万円，“支部 10 周年記念事業準備資金”として 300 万円が挙げられる

6. 開催結果，進捗状況報告

（1）中国四川省地震災害地への技術交流団派遣

- ・ 4/19～23 で実施済み

（2）特別講演会『地盤技術者の英語』入門

- ・ 以前から講師でお世話になっている赤木先生（元東洋大）に、引続き対応いただけることを確認

(3) 技術士養成講座

- ・ 関東支部若手会員対策の一環として、関幹事に企画の担当を依頼
- ・ 他支部や他学会でも類似企画を実施しており、それらを参考にしながら支部としての有効策を期待

(4) 出張講座

- ・ 過去には中学、高校へのお出張講座が多かったが、近年では国交省を中心に対応しており、桑野幹事に対応を依頼
- ・ 最近、江東区城東老人福祉センターから“地下鉄大江戸線はこうしてできあがった”について出張要請を受けたが、本来、想定している特別会員や中・高生ではないことから
講師の謝礼・交通費は学会で負担するが、会場をはじめとする準備は先方で
先方関係者（60歳以上）のみならず、壮年・若年者も参加可の扱いでの2点について返信したところ、
について対応不可の回答あり
- ・ 出張講座は、会員サービスの一環や次代を担う中・高生への啓蒙を兼ねた支援活動を本来の目的とするので、今回のような全くの第三者に対しては、講師の謝礼・交通費などは先方持ちとするのが適当ではないかという意見あり

翌日（5/19）の運営委員会でも、福祉センターからの要請内容や企画総務Gでの議論内容を報告したが、結論的には、過去の講師担当者はリタイアされて連絡不通、東京都交通局へ第三者のために仲介するのは筋違いということなどから、先方へは断りの連絡を入れ了解してもらった

(5) 工法協会交流会

- ・ 平成19年（第1回）にはアンカー系工法協会（8団体）、平成20年（第2回）には補強土系工法協会（5団体）が参加
- ・ 次回は、第2回のアンケート結果により薬液注入系を対象に考えているが、工種と所属に鑑み鎌田幹事に協力を依頼

(6) ホームページ更新

- ・ 企画総務Gのメンバー情報などが旧状態のままであり、幹事会議事録の掲載も平成18年以降は途絶えているので、対応可能な範囲で更新を実施

7. 支部長特命事項対応他

(1) IS-Tokyo2008の分配金

- ・ 剰余金（約200万円）の2/3が支部国際交流基金に還元されるということだが、基金という名目からは、使いみちとして何らかの目的を有することが必要と考えられるので、その定義、位置づけ等について本部に要確認
- ・ 具体的な金額についてはは、関口先生の希望する2009年度フォロー費を差し引いて決定される

(2) フェレニウス博士の講演会

- ・ 3月頃に、7/11か12での開催検討を行っていたフェレニウス博士の講演会について、その後の動向が不明のため要確認
後日の確認により、企画は中止

8. その他

- ・ 次回幹事会は、7月後半開催予定の運営委員会より1、2週間前に開催
後日の日程調整により7/13（月）14時からに決定